

一人平均 1 万円のご寄附で 募金目標達成へ！

～ 100 周年記念事業に向けて強いお願い～

工業会理事長 **堀 照 夫**

2021 年 12 月 14 日、福井大学に新しい建物の落成式が行われました。建物の名称は「学生交流センター」です。昭和 40 年以降に工学部に入学された方は、当時、福井大学の中央部にあった学生会館を覚えておられるでしょう。この建物が老朽化に伴い取り壊され、その場所に新築されたのが学生交流センターです。

私が大学に入学した当時の学生会館は福井大学で一番新しい鉄筋の 2 階建ての建物だと聞いていました。1 階には書籍売場があり、その端に小さい喫茶店がありました。一人の女性が働いていましたが、私の中学生時代の同級生でした。残念ながらこの喫茶室は比較的短い期間で閉鎖されました。こんな話は別として、私はこの建物の 2 階を頻繁に利用しました。私は入学と同時にドイツ語クラブに入部しました。部活動の部屋として、2 階にいくつかあった貸部屋を各クラブが競って週初めに予約を入れ、利用しました。授業が終わるとクラブ員が集まり、1 年生は先輩から集中してドイツ語文法や発音を習い（ドイツ語の授業より徹底していた）、先輩らがガリ版で手作りした Linguaphone のコピーを輪読しました。2 階の西側端の大きな部屋は各クラブの連絡所になっていて、掲示板の前にパイプ椅子が何脚もあり、数名での打合せができました。その下には大会議室があり、学科やクラブのイベントに利用されました。当時の工学部各学科の定員は 40 名であったので、クラスと教員との懇談会などもこの会議室を使っていました。部屋が取れない場合は教育学部(当時)の教室を予約して使ったことも思い出します。

新築になった「学生交流センター」は建て替えに当たって大学は文部科学省に 3 階建てを要求し、苦勞の末これが認められたと聞いています。落成式様の現在の礎を築いていただいたと言っても過言ではない福井大学に想いを馳せ、節目の 100 周年事業へのご寄附を切にお願いする次第です。工業会会員は全国に 2 万人がおられます。お一人 1 万円を目標にいただければ 2 億円になります。これは、私の工業会理事長としての同窓生の皆様への心からのお願いです。100 周年事業までは残り 2 年です。少し節約いただき、分割でも構いません。お一人 1 万円のご寄附を是非ともお願いいたします。

に当たり私は工業会理事長として招待され、式典の後建物内を案内されました。色々な工夫がなされ、まさに学生が色々な目的のために交流できる場があります。就職率 No.1 を続ける福井大学の優れた就職支援の日常が NHK でドラマ化されましたが、この舞台となったキャリア支援課は 2 階の西端に新しい場所を構えています。また、留学生が増える福井大学の国際交流の場も立派になりました。

話は変わりますが、工学部創立の 100 周年が 2024 年に迫り、工学部ではいくつも委員会を設置し、中でも「モニュメント」委員会は記念となる建物の整備・新築を進めています。工学部に唯一の階段教室である機械工学科に隣接する講義棟の 223L 教室も老朽化が進み、耐震性にも問題があるため改修が急務となっています。工学部執行部らの提案により、この教室の改修が現実化するタイミングに合わせ、この教室の改修と併せて 100 周年の記念になるホールの建設も目指しています。改修される 223L 教室は劇場型の豪華なプレゼンテーションホールに生まれ変わる予定です。この講義棟前に新築される 100 周年記念会館には多目的活動スペースとして 100 周年記念ホールやワークショップ・コミュニケーションスペースが建設されます。学会や講演会さらに学生らのイベントなど色々な目的に利用いただける施設となります。他県にお住いの同窓生の方も福井にお越しの際は是非福井大学工学部の 100 周年記念施設も是非利用いただければと思っております。

これらの施設建設には多額の費用が必要であり、卒業生をはじめとする関係者からの寄附がなければ実現できません。今日現在の寄附額は、目標額の 3 割程度であり、まだまだ足りていません。卒業生の皆様にはもう一度青春時代を過ごし、皆冒頭に書きましたような福井大学内の施設整備は今後いくつも計画され、実行に移されるようです。福井大学の教育・研究・医療分野等は国からも高い評価を得られて、存続に向けて実績は積み上げられているようで嬉しい限りです。

工業会の皆様には福井大学の力強く、前向きな姿勢にご理解いただき、今後ますます発展することを期待し、活性化するために一助となるよう工学部 100 周年記念事業へのご協力をあらためてお願いする次第です。